

伊予三島ロータリークラブ



伊予三島RC30周年記念時計塔
伊予三島運動公園「産土の塔」

今回のIMの内容について詳しく説明を受けていたので、講演やフォーラムについては、ある程度の知識を持っておりました。

受付と昼食が終わって、会場に入ると伊予三島クラブの席は、川之江と並んで最も遠方という配慮からか前方の席が用意されており、中でも私は最前列に座らせて頂きました。

昼食直後の会議ということで、ご多聞にもれず睡魔との戦いを強いられた私は、一番前ということで、なるべく目を開けたまま、寝ているように見えないように寝る練習をさせていただいたように思います。

まず、早稲田大学野球部監督 高橋広さんの講演は、講師が新居浜市生まれ西条高校出身ということと、年齢も近いということで、非常に興味深く聞かせていただきました。

先生は、たいへん真面目で、講演内容からもひしひしと人柄が伝わってきました。

早稲田大学野球部、鳴門工業高校野球部コーチ・監督、早稲田大学野球部監督と、常に第一線を歩んでこられた講師の苦労話は、心に響きました。

ただ、野球好きの私にとっては、もう少し裏話やエピソードを多めに話して欲しかったというのが、正直なところです。

続いてフォーラムですが、普段目にする事のない他クラブの青少年奉仕活動の発表を、詳しく聞くことができ、それぞれの地域性や歴史も知ることができました。

クラブによっては、会員数や取り巻く環境も違うことから、スケールの大きい活動やささやかな活動などいろいろありましたが、それぞれに工夫されているなど感じました。

最後に、余談ですが、昼食会場で当クラブの隣の席に新居浜南クラブの会員がお揃いのジャケットを着用して座っておられました。団結感を感じましたし、見ていたいへん好印象でした。石川勉会員が、いろいろと情報を仕入れてくれたのですが、当クラブでも検討できないかと思った次第です。

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

Kawii

2015~2016年度国際ロータリー会長

No. 3 4

平成 28.2.19

第 2 9 7 4 回

事務局 四国中央市金生町下分 865 四国中央商工会議所内
http://www.iyomishima-rc.jp TEL (0896) 58-3530
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX (0896) 58-6294
例会 金曜日 12:10~13:10
■会長/中野 哲 ■幹事/山内一正 ■広報委員長/園部忠幸

IM 報告 (特集)

日時 2016年2月13日(土)

場所 今治国際ホテル

ホスト・クラブ 今治南ロータリークラブ

井原 伸

2016年2月13日土曜日、今治国際ホテルに開催された「2015-2016年度国際ロータリー第2670地区愛媛第1分区インターシティ・ミーティング」に参加して参りました。

私にとってIMは、今回で4度目の参加です。ちょうど一ヶ月前に同じ場所で開催された、「愛媛第1分区今年度・次年度会長・幹事会」に参加した私は、その席で



曾我 孝志

2月13日のIMで発表した内容を報告します。

伊予三島ロータリークラブで行っている青少年奉仕に関する事業として、伝統ある善行生徒表彰と始めたばかりのインターアクトクラブの活動支援を紹介します。

一つ目は、善行生徒表彰です。

善行生徒表彰は、昭和59年から続いている伊予三島ロータリークラブの伝統事業です。毎年旧伊予三島市内の三島高校、

伊予三島の活動発表(曾我会員) 三島東、西、南の三中学校の生徒達を対象に、生徒会活動やボランティア活動で素晴らしい活動をした生徒を、各校2名づつ学校で推薦していただき、新世代の為の月間である9月の例会において、表彰をしています。

例年は、善行生徒表彰を行った後、四国中央市教育委員会教育長にお話をさせていただいていますが、今回は議会の関係で最初にお話をさせていただきました。教育長は生徒達に「今まででうれしかった事は何ですか?」と問いかけました。

生徒達は、「運動会の競技で優勝できたこと」「ある団体のイベントに参加して、たくさんの人と出会えたこと」「市内の大会で優勝して県大会に出場できること」等一人一人がうれしそうに答えていました。

会長から、一人一人に表彰対象となった内容を記載された表彰状と記念品を贈呈した後、引率の先生から、推薦理由の紹介があり、本人よりコメントをもらいました。

コメントの一つを紹介します。

僕は、この地域の清掃活動を通して、地域がきれいになる喜びとともに、自分の心も一緒に磨けることがよくわかりました。僕達の力は僅かなものですが、陰で地域の人達の役に立っていることをうれしく思います。表彰していただいたことを励みに、最後まで自分の仕事を全うしていきたい

と思います。今日はありがとうございました。

例会終了後、表彰された生徒達と一緒に記念写真を撮りました。表彰された生徒達が、この受賞を励みして、さらに成長することを、またロータリークラブに対する認識が深まることを期待しています。

もう一つの事業は、三島高校のインターアクトクラブの活動支援です。

三島高校インターアクトクラブは、2012年12月14日に誕生しました。十分な活動ができないままになっていましたが、昨年6月に開催された会長、幹事会に初めて参加し、続いて、8月に大洲で開催された年次大会にも参加し、活動が活発に行われるようになりました。

本日は、8月の地区大会に参加した時の写真を中心に、その内容を発表します。

今年の年次大会は、八幡浜高校インターアクトクラブの主管で、8月1日、2日の日程で、大洲にある国立青少年交流の家で開催されました。私も中野会長と一緒に初日のプログラムに参加しました。

今回の大会には、第2670地区の19校のインターアクトクラブの内、16校から顧問の先生を含む164名が参加していました。

三島高校インターアクトクラブからは、顧問の大西裕美先生と川上優香会長以下12名の1年生女子のクラブ会員が参加しました。

開会行事は、ロータリークラブの地区大会の進行に準じて行われましたが、進行は八幡浜高校インターアクトクラブの会員が担当しました。

基調講演は「地球に暮らす私たち」という演題で、JICA四国愛媛デスク国際協力推進員の藤田かおりさんが、ケニアでのエイズ対策隊員として派遣された時に体験したことから、様々な環境、人種や肌の色に違いはあっても、立っているのは同じ地球である。お互いのことをもっと知り、思いやって生きていく必要がある。その為には、どの様なことができるのかを考えて下さいとお話をされました。

その後は、12班のグループに分かれてのグループディスカッションが行われました。

グループディスカッションは、愛媛県に滞在している外国人の方がアドバイザーとして加わり、「現地の人々が必要としている支援のあり方」をテーマに意見交換がされました。

2日目は肱川でのカヌーを体験して、楽しい時間を過ごし、大会終了後、山田ガバナーと一緒に記念写真を撮りました。

参加した生徒からの感想です。

今回初めて年次大会に参加しました。様々なプログラムが用意されており、とても楽しく充実した二日間を送ることができました。特に印象に残っていることは、グループディスカッションでした。私の班のアドバイザーは台湾からの留学生でした。台湾での生活や支援についての話を聞いたり、班のメンバーと「私たちができる支援とは」というテーマについて、内容の濃い話し合いができました。意見交換でいろいろなことを知り、自分自身がひとまわり成長できたのではないかと感じています。この大会に参加して、私が吸収したことをたくさんの人に知ってもらいたい。そして、これからもこのような活動に積極的に参加していきたいと思いました。

3月の青少年奉仕委員会担当の例会では、インターアクトクラブの会員に参加してもらい、今年のインターアクトクラブの活動を報告してもらいます。会長・幹事会への参加、地区大会への参加に加えて、善行生徒表彰を行う例会への参加、例会を開催しているインターアクト・クラブの例会への出席を要請するなど、三島高校のインターアクトクラブの活動の充実を図りたいと思っています。

2月13日のIMに参加してきました。

記念講演の高橋広先生は、青少年奉仕の目的において最適なものだったと感動しました。

池田高校出身の畠山氏との関わりなどは、思い通りにはならない人生の中での出会いとして共感を受けるものでした。

自らの成長と人を育ててきた中での教訓がたくさんありました。その中で、今のリーダー選出時の難しさをあげられました。リーダーになりたがらない人が増えていて、どういう人がなっているかということ、弱い立場の人。人に対しては「やってくれますか」と言う人だということです。

各クラブから「青少年に奉仕の心を」というテーマで、活動報告がされました。曾我委員長から報告された善行生徒表彰の活動は特徴的で、青少年が持つ陰徳の心に光を当てる事ができる場をロータリーがつくっているのだと納得しました。

今治でのIMに参加させていただきました。IMはすでにロータリーの必須の会合ではなくなっておりますが、ガバナーの判断で実施することが出来ることになっております。地区で実施することがきまると、各分区のガバナー補佐がその実施内容について検討し、分区内の各クラブに案内をして招集をし、実施をすることになります。

IMは本来分区内の各クラブによる勉強会であり、以前は委員会毎に分かれてかなり細かい問題についての議論もおこなわれておりましたが、今回は分科会ではなく、全大会のみで、各クラブの青少年奉仕委員会の取り組みについて発表がありました。当クラブも曾我委員長より発表があり長く行われております善行生徒の表彰につきましては、あらためて大変素晴らしい事業であると認識をいたしました。今回の講演は早稲田大学の野球部監督の高橋広先生の「我が、野球人生」という演題で行われました。新居浜市の出身で西条高校から早稲田大学へ進まれ、鳴門工業高校の野球部の監督を長く勤められて、現在早稲田大学の野球部の監督を在任中の方であります。

尚、IMの担当クラブは、ガバナー補佐が選出されたクラブということになりまして、次回は新居浜クラブの予定となっております。

記念講演では、現早稲田大学野球部監督の「高橋 広」氏が、自分の人生の大半である「野球」を語っておられました。内容そのものは、自らの野球人生について、年を追って話されていたので、特に感動を覚えるものは多く有りませんでした。原稿等を持たず、途切れることも無く、時間構成を考えて話をされたのには、仕事から、会合等で挨拶する機会が多くあり、要点を捉えた簡潔な挨拶に苦勞している私にとっては、非常に感心させられるものでした。

フォーラムでは、「青少年に、ロータリーの心を」というテーマで、各クラブの青少年奉仕委員長等がスピーチをされました。

時間制限のなか、インターアクト・ローターアクトをはじめとする様々な取り組みについて話をされていました。入会後まだ間もなく、青少年奉仕はもとより、他の奉仕についてもほとんど理解できておりませんが、何十年の歴史のある各クラブで何年もロータリアンである方々でも、常に「試行錯誤」の連続なのだと、取り組みの深さと難しさをあらためて思い知りました。

一回のIMで何かを掴んだり成長できたりするものではありませんが、他のクラブの会員の様子等が少しだけ垣間見えたことが、今後の自分の取り組みの参考にして行ければと思っております。

森 実 達 治

入会して3回目のIMに参加して来ました、入会3年間は義務出席ですよ、と云うことでしたので、一応義務は果たせたと安堵しております。それにしても、主催者は大変だと思いました。寒い雨の中の、駐車場の案内係、登録受付や、進行係、沢山のメンバーの協力で、雑壇が在るのだと思いました。今治さんご苦労様でした。

講演会で野球の指導のあり方を聴いたり、各クラブの発表会で、それぞれのクラブの青少年奉仕活動を聴いて、色々な取り組み方が在るのだと改めて感じる事が出来ました。

発表の為にだけわざわざ参加され、素晴らしい発表をされた曾我委員長、お疲れ様でした。クラブを代表する使命感に感動です。

ロータリーの何たるかを学べるIMにまた参加出来るようにしたいと思います。

青 木 良 臣

今回、初めてインターシティミーティングに参加させて頂き、早稲田野球部監督、高橋監督の講演に続いて、各ロータリークラブ青少年奉仕委員会の活動報告をお聞きして、大変有意で興味深いお話ありがとうございました。

特に、高橋監督の学生の野球に対する取り組み方で、スパルタトレーニングでなかなかついてこれなくて、部員が減って苦労した鳴門工業高校野球部時代の話や、イチロー選手が、小学生時代作文に「将来野球選手になってオールスターに出て一流選手になって活躍したい」と夢を書いていたというエピソードなど、人は幾つになろうが、夢を持つことが大事なことです。等興味深い話、なかなか面白い話が聞けてよかつとおもいました。

また、留学生の、一年間の海外派遣等、各クラブごとに色々な活動、興味深い話よかったです。

今 村 定 生

今治国際ホテルで行われたIM会議は、会場を点鐘が鳴り響いたなかで肅々と開会した。『君が代』に続いて『奉仕の理想』が流れ、普段例会で和やかに？歌う雰囲気とは異なり、心地よい緊張感が漂っているなかでの斉唱、上段には国旗とロータリー旗が掲げられ、タスキを肩から掛けた方々が壇上に、、、ふと、テレビで見た宗教団体の年次大会の映像が、頭によぎったのは、今回はじめて参加した私だけでしょうか？（すみません）

正直、いまひとつ馴染めない雰囲気がありました。が、会が進行するに従い、曾我会員による『青少年奉仕について』の威風堂々とした報告に感動し、また他地区からの報告などを聞きながら、ようやく会議自体の目的や内容を少しずつ理解しつつも、本筋のところどころが全く理解できていないまま、気がつけば終盤に、、、

最後には「手に手をつないで」を会場内で歌詞のとおり、手に手をつないで、輪をつくり合唱。最近では、数分間、人の手を握る（女性どころか、家内すら？）こともないので、案の定、暫くしたら手汗がでてきて、今日一番硬直し緊張した瞬間でございました。

兎にも角にも無事会議を終え、出席会員のお世話をしてもらった山内幹事様に深く感謝すると共に、来期は小職がと考えると、、、震えと妙な汗を感じながら 帰路へと、

追伸：往復の車中で、藤田誠一会員、井原伸会員、藤田浩晃会員とご一緒に会話できたのが、わたくしにとって、IM会議同様 実りの多い時間でありました。深謝です。

山 内 一 正

先日はIMに参加していただきありがとうございました。19名の参加からやや参加人数が減少したものの初参加の方が多く、大変ありがたく思っております。

当日は山田戒乗ガバナーがインフルエンザで急遽欠席となりましたが、それをカバーする程の高橋広先生による「我が、野球人生」の記念講演、さらにはフォーラム、テーマ「青少年にロータリーの心を」と大変有意義な会となり、曾我孝志さんによる伊予三島ロータリーの発表と大変心に残るIMとなりました。

足元の悪い中、大変お世話になりありがとうございました。

IM会場での思いでのスナップ



テーマ「我が、野球人生」高橋 広氏



最後に恒例の「手に手をつないで」で終了



真剣に学ぶ伊予三島の会員



愛媛第一分区が今治に結集

第2974回 例会 記録 平成28年2月19日

開会 中野 哲 会長

出席報告

出席会員 (37名中)	31	名
出席率	83.78	%
第2972回修正出席率	97.30	%

会長の時間

幹事報告

・ガバナー事務所～第40回
ロータリー青少年少女キャンプのご案内

例会行事

IM報告

ニコニコ紹介

山内一正 幹事～先日のIMに参加された方。
有難うござせました。

3月4日プログラム予定

卓 話 (外部)